

イクボス宣言

実践女子学園は、明治32(1899)年の建学以来一貫して、自立自営し得る実践的な力を持った女性を育成することによって、女性の社会的な地位の向上と社会進出に尽力してきました。

こうした本学園にとって、男女共同参画社会実現のための先導的な役割を果たすことは、社会的使命であり、重大な責務であると考えます。

したがって、本学園では、男女共同参画社会の実現をめざして、教職員のワーク・ライフ・バランスを推進する取り組みを積極的に行います。そして、全教職員が自らの能力を存分に発揮して社会的責任を果たすことができるよう、職場環境の整備に努めます。

そのために、私は自らイクボスとなり、学園教職員の仕事と家庭の両立を支援することをここに宣言します。

さらに、本学園の教職員にイクボスを増やすとともに、他の教育機関にもイクボスの取り組みや考え方を広め、男性と女性がともに生き生きと活躍する社会の形成に貢献することを誓います。

平成28年5月23日

学校法人実践女子学園

理事長

井原 徹

立会人

日野市

市長

大坪 冬彦

NPO法人ファザーリング・ジャパン

代表理事

梶 藤 哲也